

ま え が き

スポーツは、身体の健康の維持・増進、ストレス発散、自己の能力向上、他者とのコミュニケーションの確立など、様々な効果をもたらしてくれ、われわれの生活においてなくてはならないものです。日本のさきがけとしてスポーツを導入してきた大阪府では歴史ある数多くの大会が開催されており、また、数多くの事業者がスポーツに関連した事業を展開しています。

大阪府立産業開発研究所では大阪府生活文化部生涯スポーツ振興課からの依頼により、「スポーツの視点から見た産業、地域振興」の調査研究を行いました。現在、スポーツには様々なスポーツ産業が関わっていますが、スポーツ産業という定義自体、興行としてのスポーツを行っているものに限定するものから、スポーツを扱っている産業全般とみるものまで研究者の中でも様々な解釈があります。

そこで本調査研究では、まず、そうしたスポーツやスポーツ産業に関する様々な視点からの先行研究を概観し、次に、統計調査などを用いて、大阪府民がスポーツにどのように関わっていて、今後、どのように関わろうとしているのかを確認しました。そのうえで、スポーツに関係した事業展開を行っている事業者の状況、スポーツやスポーツイベントなどが地域に与える影響、スポーツを活かした事業展開や地域振興などの取組を確認しました。

本報告書がスポーツ、あるいは、地域や産業の振興に携わる皆様にとって、多少なりとも参考となれば幸いです。

本調査研究にご協力いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

なお、当事業の担当者は主任研究員の竹原康幸と客員研究員の上野信子であり、竹原は第1、2、4章を、上野は第3章を執筆しました。

平成20年3月

大阪府立産業開発研究所
所長 橋本 介三